

こころで歌うハーモニー



目的

- ・ゴスペルの曲を通して自然な発声によるハーモニーを感じる。

効果

- ・パート練習で、みんなが協力して曲を作っていく過程のおもしろさを感じる。

到達点

- ・開放された気持ちと声が、重なり合って大きなハーモニーになる喜びを味わう。



事前学習

課題曲「Amazing Grace」、「Oh Happy Day!」をCDで鑑賞する。

ワークショップの流れ (3日間く1コマ/日)

ゴスペルの解説と、練習曲の説明および、発声練習



「Amazing Grace」のメロディーを斉唱



「Amazing Grace」のパート練習のあと、全員で合唱演習



「Oh Happy Day」のパート練習のあと、全員で合唱演習



各曲の発音や口の開け方、表現力などのアドバイス



全員で仕上げて歌い込み

事後学習

音楽の授業で引き続き演習し、ミニ発表会で披露する。



講師 升本しのぶ

略歴

ボーカリスト

大学時代軽音楽部に所属し、アマチュアとして様々なバンドに参加、関西各地のライブハウスに出演。名門ジャズバンド、アロージャズオーケストラ(AJO)の姉妹グループとして結成されたゴスペルグループ「AJOマスクワイアー」(現名称「KIKO'S CHOIR」)のオーディションに合格しメンバーとなる。現在、大阪芸術大学ポピュラーヴォーカル科、AJOミュージックスクール、YAMAHA PMS講師をつとめる。



- 会場は、ピアノ設置が望ましい。
- 課題曲の楽譜や歌詞を事前に読み込んでおくことが望ましい。

…ワークショップを実施して…

講師の感想

生徒が意欲的なので、新曲2曲に取り組めた。曲を合わせていくにつれ、特にアップテンポな「Oh Happy Day!」ではノリがよくなり、簡単なステップや振りにより全体が引き締まった。音楽専攻だけではなく、美術・書道専攻の生徒も積極的に参加し、皆が協力・集中してパート練習に取り組むことができたのが何よりも良かった。

先生の感想

ワークショップが進むにつれ、生徒の目が輝き、積極的に取り組む姿勢が伺えた。講師のイキイキとパワフルな指導が生徒に通じたと思う。混声で、クラス全員が一体になってハーモニーがまとまった時は、生徒も教員も感激した。ユニークな発声方法、ステップの踏み方なども、講師の熱意ある指導で予想以上に高い完成度になった。

生徒の感想

- ・みんなで歌って声がハモった時は、とても楽しくて思わず笑顔になった。
- ・いい発声練習を学べた。歌うことが好きになった。協調性ができた。
- ・目標をつくりそれを達成できてとても嬉しかった。歌うことは楽しい!
- ・講師が歌を歌ったとき、体にビリビリと伝わって、すごびっくりした。

より発展的なワークショップを実施するために

- 受け入れ科目を社会科として、北米史とあわせてゴスペルの歴史を学ぶ。
- 受け入れ科目を英語として、歌詞の意味を学ぶ。
- ゴスペルを使っている映画を鑑賞して、社会背景を学ぶ。
- 新しい曲に挑戦して文化祭で発表する。